

薬連ハイライト

令和2年度定時評議員会開催される

3月24日(水)13時より、東京四谷・スクワール麹町において「令和2年度定時評議員会」が馬場常任総務の司会により進行され、新型コロナウイルス感染拡大により、議場の様子はYouTube liveにより同時配信された。出席者は5名、書面評決者は84名であった。

開会の挨拶に立った山本会長は、コロナ禍において、藤井基之参議院議員のような活動が思うように行えない。画面を通してとリアルに会うことの違いをしみじみと感じているが、何卒後継の神谷まさゆき副会長へのご支援を賜りたいと述べた。

薬剤師国会議員の挨拶では、松本純衆議院議員、藤井基之参議院議員、逢坂誠二衆議院議員、本田顕子参議院議員が駆けつけ、とかしきなおみ衆議院議員は当日衆議院厚生労働委員会のため司会から祝電をご紹介した。

明石副議長が登壇し、杉浦評議員、富永評議員が議事録署名人に指名されて、議事に入った。石井副

会長から薬剤師会を巡る最近の課題が説明され、報告第1号令和2年度会務並びに事業中間報告、議案第1号令和3年度事業計画の件が説明され、次に荻野副会長から第2号令和3年度責任負担金の件、第3号責任負担金単価に関する件、令和3年度収入収支に関する件、令和3年度借入金最高限度額の件が説明された。質疑応答の後、挙手多数、書面評決により可決承認された。

協議に入り、神谷まさゆき支援活動の件が岩本幹事長から報告された。神谷まさゆき組織内統一候補からは、「日々の活動を重ね、国政へ薬剤師の声を届けたい気持ちがさらに強くなっています。皆様のご支援を頂いて、薬剤師の思いを繋ぐために頑張ります」と挨拶された。

大澤副会長が閉会の挨拶に立ち、残り1年3ヵ月余り、一丸となって支援活動を行うことを誓い合い散会となった。



もとゆき便り

令和3年度予算成立

情報監視審査会会長
参議院議員・薬剤師
藤井 基之



3月26日の参議院本会議において、一般会計の歳出総額が当初予算として過去最大の106兆6097億円となる、令和3年度予算が与党の賛成多数により可決、成立しました。この予算には新型コロナウイルス感染症対策の予備費5兆円も盛り込まれています。他方、新型コロナウイルス感染症等の影響により税収の落ち込みが見込まれることから、公債の発行額は43兆5970億円となり、公債への依存度は40.9%となっています。

新型コロナウイルス感染症は、先行きの見えない状況が続いています。首都圏4都県の緊急事態宣言は解除されましたが、再拡大が顕著な大阪府、兵庫県及び宮城県の3府県には、4月5日から改正特別措置法に基づく「まん延防止等重点措置」が適用されました。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の収束への期待がかかるワクチン接種は、医療従事者に続いて、高齢者への優先接種が始まりました。新型コロナウイルス感染症対策分科会の尾身会長は、記者会見で「高齢者にワクチンの届く6月までが正念場、大きなリバウンドを防ぐことが最優先課題となる」と述べられています。

薬剤師の皆さんには、接種会場での薬液充填や接種者の服用薬剤の確認等の役割が求められています。皆様方のご協力により接種が順調に進むものと思います。

オレンジ日記

コロナ禍での新たな生活

自民党厚生労働部会副部会長
参議院議員・薬剤師
本田 顕子



3月21日、緊急事態宣言が終了となりました。この宣言終了に当たっての3月18日、衆・参の議院運営委員会が開かれました。私は参議院の議運メンバーですが「緊急事態宣言終了時の質問は薬剤師の本田さんにやってもらうのがいいだろう。」と筆頭理事の先生をはじめ皆様のお計らいで、菅総理と西村大臣に質問の機会を5分間頂きました。事前に藤井基之先生にご指導いただき、菅総理には、ワクチン接種事業の円滑な実施と国民の皆様への情報提供について質問をいたしました。総理からは、「科学的知見に基づいて、正しい情報を分かりやすく、丁寧にそしてできる限り広く発信し、全ての皆様が安心して接種できるように全力を挙げていく」という御答弁を頂きました。初めての総理への質問ではありましたが、菅総理は、ご自分のワクチン接種の状況を笑顔で披露されるなど、緊張がほぐれるやり取りができたことと安心して質問を終えることができました。

緊急事態宣言は解除されましたが、一部地域での感染の拡大は収まらず、4月5日には大阪府、兵庫県、宮城県に、まん延防止等重点措置が適用され、更に4月12日からは東京都等範囲が拡大されました。コロナ禍での新たな生活を受け入れることも考える必要があるのでしょうか。

春光あまねく満ちわたる季節、皆様のご多幸をお祈りいたします。